少林寺たより 澤龍

平成27年
盆号

≪ いつでもお話し聞きます≫
電話
０８６８-５７-２３０３
携帯（住職）
０８０-６３５１-９６８６
メール
info@shorinzenji.com

【発行所】
澤龍山少林寺
〒709-4606
岡山県津山市
中北上1150
℡
0868-57-2303
【発行人】
清涼晃輝
℡（携帯）
080-6351-9686
E-mail:
seiryo-k@mx1.
tvt.ne.jp

安らぎの場

清涼　晃輝

あなたにとって、お寺の敷居は高いですか？

用事もないのに行きにくい。あまり関心が無い。お参りの作法が分からないという声が聞こえてきそうです。確かに、日常生活でお寺が縁遠く感じられる方もおられると思います。

しかし、実際には多くの方が当寺へ来られます。

法事や行事の参列の他に、仏壇・お墓・葬式・法事の相談、人生相談、ただ話しを聞いて欲しい方、何となくお参りしたくなったなど様々です。また最近では、インターネットやメールでコミュニケーションされる方も増えています。

お寺や住職は、葬式や法事で読経する他、皆の心の拠り所になり、安らぎの場を提供することが役目です。

若僧に何がわかるのかと思われるかもしれません。確かにその通りと思います。

ただ「まぁ、お茶どうぞ」（禅語＝喫茶去（きっさこ））と一緒に茶のみ話しは出来ます。共に悩み考えることは出来ます。少なからず仏様の教えをお伝えすることも出来ます。

私はお寺が好きです。仏教ファンの一人です。お寺や仏教は癒されます。

「一切の生きとし生けるものは、幸福であれ、安穏であれ、安楽であれ。」（ブッタの言葉・中村元訳）

どうぞ遠慮なくいつでも当寺へお越し下さい。また、ご連絡頂ければお伺い致します。

お寺、好きですか？

【葬儀の写真を探しています】

葬儀は、自宅で行い行列して墓地へ埋葬する方法から、葬儀会館から火葬場へ向かう方法に変わりました。以前、男性は埋葬のため穴を掘り幡や装飾品等を準備し、女性は掃除・食事・接待等を行いました。家族・親戚・地域（講組）で力を合わせていた葬儀が昔の事になり、今ではその意味さえも見失い始めています。今こそ、古きよき時代を思い出し、ご先祖様や皆様が営まれた伝統的な葬儀の歴史を後世に伝えようではありませんか。私たち地域の葬儀文化を記録したいのです。葬儀の他にも法事・少林寺の行事など仏事関係の写真・役配・飾り物など資料をお貸し下さい。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。　　住職合掌

仏の智慧に学ぶ

仏のことば　①

（『仏教聖典』仏教伝道協会　第四節）

わたしをののしった、わたしを笑った、わたしを打ったと思う者には、怨みは鎮まることがない。

怨みは怨みによって鎮まらない。怨みを忘れて、はじめて怨みは鎮まる。

屋根のふき方の悪い家に、雨が漏るように、よく修めていない心に、貪りのおもいがさしこむ。

怠るのは死の道、努め励むのは生の道である。愚かな人は怠り、智慧ある人は努め励む。

弓矢を作る人が、矢を削ってまっすぐにするように、賢い人は、その心を正しくする。

心は抑え難く、軽くたち騒いでととのえ難い。この心をととのえてこそ、安らかさが得られる。

怨みを抱く人のなすことよりも、かたきのなす悪よりも、この心は、人に悪事をなす。

この心を、貪りから守り、瞋りから守り、あらゆる悪事から守る人に、まことの安らぎが得られる。

檀信徒を訪ねて

平成二十七年四月二十六日、偉大な方が旅立たれました。

故高柳二郎（九十五才）
善教院淳心不昧居士

ご生前のご功績を偲び、心よりご冥福をお祈り致します。

高柳氏の自叙録に「父は上等兵、馬上の連隊長の前、地図を片手に誤ってはならぬと、街の人にたびたび道を確かめ、誤りなく先導の役目を果たしたという。誇り高く語る父の姿を想い出すのである」とある。高柳氏の実直な性格は父親譲りだったのであろう。

出兵し満州の地を踏み、戦地で目前に敵が迫る最中に終戦を迎え、その後シベリアに三年抑留。自叙録に『我々の収容される宿舎へと向かった。宿舎造りが始まった。作業当番を割り当てても誰も出てこない（中略）それぞれに役を決められたがだれも動こうとはしない。退廃した現状であった。私は立ちあがった「戦いには敗れた。しかし心まで腐ってはならぬ。我々が生活する宿舎造りだ。力を合わせてやれば出来る。自分の担当する仕事が出来たら部屋へ帰す」』とある。

氷点下四十度の過酷な生活環境の中で懸命に生きようとする様子が記されている。後に歌を残されている。

シャツひとつ
身にまとわせて葬りき
我が率いて
きたりし兵の亡骸

帰国後は、「平和国家の一員として頑張ります」と言い、中学国語教諭、校長として長く教育に携わる。久米町教育長在職中には、久米町史発行の偉業を成し遂げた一役を担ったことは誰もが知るところであろう。

戒名でもあるが「不昧」という言葉が好きであった。心が欲にくらまされない。明確なという意味である。高柳氏は、確かな淳い心で善き教えを残された、郷土の偉人であります。（合掌）

平成27年
少林寺婦人会　定期総会

婦人会会長就任のご挨拶

新緑の好季節となり皆様におかれましてはお健やかにお過ごしのことと拝察致します。

此度平成二十七年度少林寺婦人会総会において坪井上地区・佐山笑子が会長に就任することとなりました。

会長と言う大役をお受けさせて頂きましたが、少林寺御住職のご指導、そして会員皆様のご協力を頂き会のより充実した活動に努めさせて頂く所存でございます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

婦人会新役員　紹介

会長	佐山　笑子
副会長	田丸　ふじ江
副会長	保田　カツエ
会計	實成　尚美
理事	政安　薫
理事	原田　恵子
理事	山中　敬子
理事	福島　宏子
理事	河原　優代
理事	池田　和子
理事	澤田　通恵
理事	永田　千津子
理事	村上　保子
理事	實成　恵子
監事	國米　梅子
監事	國米　恵子
評議員	牧原　良子
評議員	奥　由紀江
評議員	沼　美智香
評議員	中島　淳子
評議員	中島　靖子
評議員	岡　さだ子
評議員	原田　純子
評議員	福島　由利子
評議員	太田　淳子
評議員	杉井　聡美
評議員	楽万　悦子
評議員	木原　怜子
評議員	髙本　美代子
評議員	國米　貞子
評議員	林原　幸子
評議員	石井　節子

（順不同敬称略）

旧役員様、二年間お世話になり、ありがとうございました。

新役員様、二年間ご力添えよろしくお願い致します。

少林寺ホームページ更新中
http://www.shorinzenji.com/

曹洞宗澤龍山少林寺フェイスブック
https://www.facebook.com/shorinzenji

晃輝和尚のブログ「覚禅堂」
http://ameblo.jp/seiryo-koki/

●ご意見ご感想、次回の少林寺たより「澤龍」投稿募集中です！
（歴史・俳句・川柳・短歌・豆知識・活動等ジャンルは問いません）

「月暦の歳時を考える」

志賀　勝

歳時という一年間の折々の節目を皆さんはどのように迎えているでしょうか？　子どもの成長、健康、長寿の願い、あるいは死者の魂との交歓など、一年を通して人はさまざまな行事を節目に生活してきたものですが、明治時代以降の近代、現代はそうした慣わしの多くが衰退または消滅する時代になっています。

月の暦であるいわゆる旧暦が使われなくなったことがその大きな原因の一つですが、私たちの風習の衰退とは裏腹に、というか衰退しているからこそでしょうが、クリスマスやバレンタイン、ハローウィンといった西欧の風習が浸透しつつあり、本当に考えさせられます。イースター（復活祭）まではやらせようという動きがあるとの話を聞きました。西欧の歳時、風習は西欧の歴史が育んできたわけですが、その歴史と無縁な私たちの生活の中に持ち込もうとするのは、私たちをもっぱら商品の消費者として見るため、というのは見やすい道理でしょう。実は、西欧の風習と同じ内容のものが、私たちの伝統的な風習の中にすべて含まれていたものでした。小正月行事、八朔、中秋の名月、亥の子行事など、とりわけ子どもたちにとってよろこびの日だった風習がたくさんあったものです。

月の暦を作って２０年になりますが、何月とか日付け、曜日しか分からない西暦と違い、月や季節といった自然を表している月暦の良さをアピールするには、身をもって伝統的な歳時、風習に取り組もうと考え、この１５年ばかりですが、新年行事、五節供、月の行事などを行ない、月や花などの自然と共にある歳時の意義を確かめてきました。

歳時の日時を考えるのにちょうどいい年が今年の暦で、月暦と西暦との違いがよく分かる一年になっています。たとえば七夕ですが、伝統的な七夕である月暦七月七日は西暦では８月２０日。西暦７月７日からは一ヶ月と二週間も離れていますから、西暦七夕行事ではいかにもごまかしになってしまう、ということがとてもよく理解できるのです。そして何より、七夕には七日の月という上弦ごろの月がある事が欠かせません。

当寺におかれましても、中秋の名月の取り組みをはじめ正月のあり方などさまざまな歳時について思いをめぐらせておられて、本当に力づけられます。私の運営する会といつか共に歳時をいとなんでいただける機会があれば何よりだなと、心から思います。

◎「月と季節の暦」カレンダー発売中です！月から季節を学んでみませんか？

◎是非、下記サイトご覧下さい。月の面白さ暦の大切さが満載です。

http://tsukigoyomi.jp

平成二十七年 主な行事予定

●年忌法要・総供養

六月十四日（日）十四時

毎年恒例ご先祖様の供養会と併用し法要を営みます。

・開山　大網愚溪大和尚
　四百五十回忌
・十八世　實参義道大和尚
　三十三回忌
・故　清涼峰代
　二十五回忌
・檀信徒総供養

●盂蘭盆大施食会

八月十八日（火）十六時

本年は、落語（別紙参照）とお盆の大法要。**特に、初盆のお宅はお参り下さい。**

●禅道場体験

八月二十一日（金）
七時半～十三時頃

少林寺で修行を体験してみませんか？

掃除、坐禅、読経、写経、お話しなど修行致します。子供から大人まで檀家は問いません。親子・お友達等お誘い合わせの上ご参加下さい。

・参加資格　やる気ある人
・対象　小学生以上
（お一人様から参加可能）
・予約制（先着七十名）
・申込み方法
少林寺にて「禅道場体験入門願」にご記入下さい
・参加費　無料
・〆切　**八月十日迄**

●二年参り（除夜の鐘）

十二月三十一日
二十三時半頃から

●修正会

元旦～三日

随時、御祈祷を受け付けております。厄年、お祓いなど新年のご祈願致します。（お札・お守りございます）

●婦人会清掃活動

六月十四日（日）
坪井下地区
八月十七日（月）
中北上地区
十二月二十日（日）
中北下地区

※遠方のお檀家さんのお手伝いも大歓迎です。

覚禅会

●九時～坐禅、行茶
●十時～読経、写経

参加費無料。
坐禅と写経の二部制です。
一方の参加も可能です。
初めての方ご指導致します。
足の不自由な方の坐禅は、椅子に座り足を組まなくてもできます。
写経は、椅子と机がございます。道具もあります。
（使い慣れた道具があれば持参下さい）
檀家、年齢性別は問いません。
どなた様もお気軽にお越し下さい。
※団体の場合はご連絡下さい
（個別の日程は要相談）
※個人、団体、企業など出張で坐禅会・写経会を致します。
勝手ながら、急な日程変更もありますので事前にご確認頂ければ幸甚です。
夜の坐禅会『夜坐』下記の日程で行っております。
ホームページ、フェイスブックでも予定を掲載しております。**（三頁参照）**

《覚禅会六月～一月の予定》
毎月　第二土曜日　開催

●六月　十三日（土）九時
●七月　十一日（土）九時
●九月　十二日（土）九時
●十月　十日（土）九時
●十一月　十四日（土）九時
●十二月　十二日（土）九時
●一月　九日（土）九時
※八月は禅道場体験です

《覚禅会　夜坐》　夜の坐禅会

●九月二十七日（日）十九時半
中秋の名月　お月見会
※十八時から団子作り
●十月二十五日（日）十九時半
後名月　お月見会
●十一月十三日（金）十九時半
少林寺開山忌
●十二月七日（月）十九時半
摂心会（釈尊成道会前夜）

平成二十七年五月十五日発行

棚経（盆経）のお知らせ

今年も棚経（お盆のお経）にお伺い致します。

美作地区外の方は例年通り、お電話にて日程をご連絡致します。

美作地区の方は、勝手乍ら下記の予定表通りお勤めさせて頂きまので宜しくお願い致します。ただし、葬儀などで急な予定変更もございますので、その折は何卒ご理解下さい。

また、ご都合の悪い方はご連絡頂ければ日程の変更も可能ですのでご遠慮なくお申し出下さい。

お留守の場合は、略儀乍ら外からご回向させて頂きます。

午前は七時～十三時頃
午後は十二時～二十時頃
の予定です

（早朝より、昼食時、日暮れ時に訪問することもありますが何卒ご協力下さい。）

平成２７年　棚経（盆経）予定表

日にち	曜日	時間	地域（仏壇の安置場所で表記）
6月上旬頃			関東、中部地域
6月上～下旬頃			関西地域
7月上旬頃			中国（岡山県外）四国地域
7月上～中旬頃			岡山県南地域
7月中旬頃			新見市、勝央町、美作市
7月16日	木	午前	加茂町、上横野、苫田郡鏡野町、宮部下
		午後	宮尾、久米川南、神代、福田下、桑上、桑下、戸脇、久米郡美咲町
7月17日	金	午前	山方、一宮、大田、沼
		午後	上河原、北園町、山下、椿高下、総社、小原
7月21日	火	午前	林田、野介代、川崎、中原、高野本郷、横山、昭和町
		午後	大谷、南新座、福渡町、坪井町、鉄砲町、小田中、二宮、院庄
7月31日	金	午前	真庭市
8月1日	土	午前	畝西、政友
		午後	追分、原（上）
8月2日	日	午前	原（下）、安清（上）
		午後	安清（下）、福本
8月3日	月	午前	明谷、岩谷
		午後	磯尾、寺城、大宮
8月4日	火	午前	坪井（１）（２）
		午後	坪井（２）（３）（４）
8月5日	水	午前	岡、寺岡、千代
		午後	三成（１）（２）
8月6日	木	午前	多田、領家
		午後	木原、向山根
8月7日	金	午前	山根（東）（中）（西）
		午後	奈義
8月8～12日			〈予備日〉
8月13日～15日頃			〈初盆〉 ※ご予約がまだの方は、お早めにご連絡下さい
秋彼岸頃			九州地域